ま　え　が　き

このテキストは、高年齢者用「キー入力練習ソフト」を使って、はじめてパソコンによるキー入力を学ぶ方を対象に作成したものです。

このキー入力の学習は、初心者向けに改良された3種類のパソコンのキーボードを使用して学習することにより、キー入力がはじめての方でもキー入力に対する抵抗を持たずに入力練習を行うことができます。

また、パソコンの画面を多く掲載し、学習内容及び学習進度の確認を容易にできることと、学習進度が進むにつれ、学習者の理解度に応じた学習形態をとれるように配慮しました。

このテキストの開発は、つぎの方々にご執筆をお願いしました。短期間にご執筆をいただきましたので、今後の実践をとおして、必要に応じ修正をしたいと考えてます。

最後に、ご執筆いただいた「高年齢ホワイトカラーの職域拡大のためのコンピューター訓練システムの開発委員会」教材開発部会小委員会の開発委員ならびに資料等のご協力をいただいた諸氏に心から深く感謝の意を表します。

開発委員（五十音順　敬称略）

砂沢恵子	宮城障害者職業能力開発校
泉　智之	雇用促進事業団　関東職業能力開発促進センター
大江康二	雇用促進事業団　小山職業能力短期大学校
河原寿美子	OAインストラクター
菅野陸朗	日本電信電話株式会社
川井正治	東京都立大塚高年齢者高等職業技術専門校
木村　亨	雇用促進事業団　滋賀職業能力開発促進センター
木場俊明	東京都立品川高等職業技術専門校
高橋公一	雇用促進事業団　八幡職業能力開発促進センター
山田　稔	ベアーズエンジニアリング株式会社
山田和夫	東京都立亀戸高等職業技術専門校
山川明子	職業能力開発大学校　研修研究センター　開発研究部
浅井清美	職業能力開発大学校　研修研究センター　開発研究部
秩父和恭	職業能力開発大学校　研修研究センター　開発研究部
高橋辰榮	職業能力開発大学校　研修研究センター　開発研究部

平成7年3月

職業能力開発大学校
研修研究センター
所長　城　哲也

学習ガイダンス

☆　このテキストは、「キー入力練習ソフト」を使って、キー入力について、はじめて学ぶための学習者用補助教材です。

☆　学習をはじめる前に、次の学習登録表にコード等を記入して下さい。

学習登録表

1．学習者コード　□－□□□

2．氏　　　名

学習者コードは、与えられたものをお使いください。

☆　この訓練システムは、あなたとテキスト及びコンピューターとの連携により、マイペースで学習できます。

☆　このテキストのコースアウトラインは、パソコンについての各部名称やその機能についての基礎的なことを既に習得している方を対象に編成しています。

学習時間に余裕もあり、パソコンについての名称やそれぞれの機能等基本的なことから学習される方は、担当の先生と相談をして、「キー入力を練習する」から学習をはじめてください。

さあチャレンジしてみましょう。

次のページへどうぞ

付　　録

付録としてローマ字かな対応表やホームポジションを資料として掲載しましたので、参考にして下さい。また、学習記録表にはその日学習した内容や時間などを各自で記入し、学習進度の参考にして下さい。

1．ローマ字かな対応表

あ	A（あ）	I（い）	U（う）	E（え）	O（お）
	LA（ぁ）	LI（ぃ）	LU（ぅ）	LE（ぇ）	LO（ぉ）
か	KA（か）	KI（き）	KU（く）	KE（け）	KO（こ）
	KYA（きゃ）	KYI（きぃ）	KYU（きゅ）	KYE（きぇ）	KYO（きょ）
さ	SA（さ）	SI SHI（し）	SU（す）	SE（せ）	SO（そ）
	SYA SHA（しゃ）	SYI（しぃ）	SYU SHU（しゅ）	SYE SHE（しぇ）	SYO SHO（しょ）
た	TA（た）	TI CHI（ち）	TU TSU（つ） LTU（っ）	TE（て）	TO（と）
	TYA CYA CHA（ちゃ） THA（てゃ）	TYI CYI（ちぃ） THI（てぃ）	TYU CYU CHU（ちゅ） THU（てゅ）	TYE CYE CHE（ちぇ） THE（てぇ）	TYO CYO CHO（ちょ） THO（てょ）
な	NA（な）	NI（に）	NU（ぬ）	NE（ね）	NO（の）
	NYA（にゃ）	NYI（にぃ）	NYU（にゅ）	NYE（にぇ）	NYO（にょ）
は	HA（は）	HI（ひ）	HU（ふ）	HE（へ）	HO（ほ）
	HYA（ひゃ） FA（ふぁ） FYA（ふゃ）	HYI（ひぃ） FI（ふぃ） FYI（ふぃ）	HYU（ひゅ） FU（ふ） FYU（ふゅ）	HYE（ひぇ） FE（ふぇ） FYE（ふぇ）	HYO（ひょ） FO（ふぉ） FYO（ふょ）
ま	MA（ま）	MI（み）	MU（む）	ME（め）	MO（も）
	MYA（みゃ）	MYI（みぃ）	MYU（みゅ）	MYE（みぇ）	MYO（みょ）
や	YA（や）	YI（い）	YU（ゆ）	YE（いぇ）	YO（よ）
	LYA（ゃ）	LYI（ぃ）	LYU（ゅ）	LYE（ぇ）	LYO（ょ）

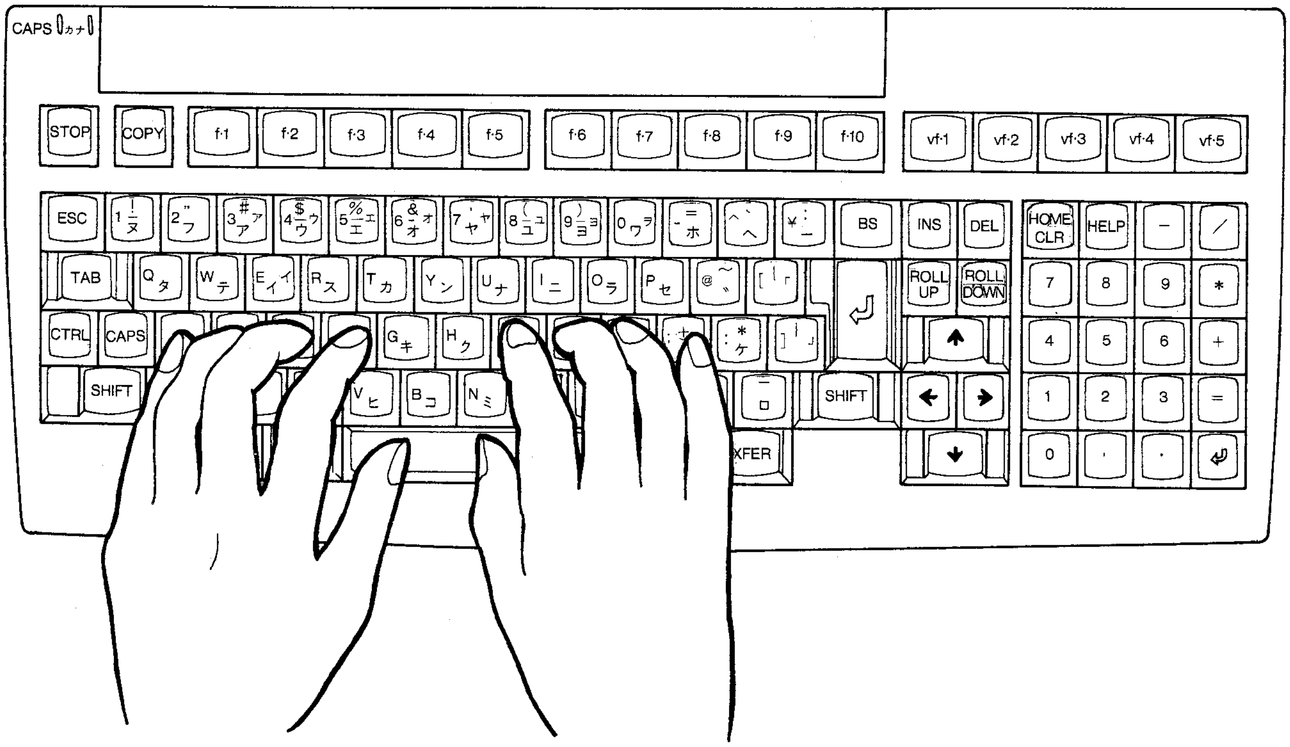
ら	RA（ら）	RI（り）	RU（る）	RE（れ）	RO（ろ）
	RYA（りゃ）	RYI（りぃ）	RYU（りゅ）	RYE（りぇ）	RYO（りょ）
わ	WA（わ）	WI（うぃ）	WU（う）	WE（うぇ）	WO（を）
ん	NN（ん）	N（ん）			
が	GA（が）	GI（ぎ）	GU（ぐ）	GE（げ）	GO（ご）
	GYA（ぎゃ）	GYI（ぎぃ）	GYU（ぎゅ）	GYE（ぎぇ）	GYO（ぎょ）
ざ	ZA（ざ）	ZI JI（じ）	ZU（ず）	ZE（ぜ）	ZO（ぞ）
	JYA ZYA JA（じゃ）	JYI ZYI（じぃ）	JYU ZYU JU（じゅ）	JYE ZYE JE（じぇ）	JYO ZYO JO（じょ）
だ	DA（だ）	DI（ぢ）	DU（づ）	DE（で）	DO（ど）
	DYA（ぢゃ） DHA（でゃ）	DYI（ぢぃ） DHI（でぃ）	DYU（ぢゅ） DHU（でゅ）	DYE（ぢぇ） DHE（でぇ）	DYO（ぢょ） DHO（でょ）
ば	BA（ば）	BI（び）	BU（ぶ）	BE（べ）	BO（ぼ）
	BYA（びゃ）	BYI（びぃ）	BYU（びゅ）	BYE（びぇ）	BYO（びょ）
ぱ	PA（ぱ）	PI（ぴ）	PU（ぷ）	PE（ぺ）	PO（ぽ）
	PYA（ぴゃ）	PYI（ぴぃ）	PYU（ぴゅ）	PYE（ぴぇ）	PYO（ぴょ）
ゔぁ	VA（ゔぁ）	VI（ゔぃ）	VU（ゔ）	VE（ゔぇ）	VO（ゔぉ）
っ	後ろに子音を２つ続けます （例）だった…DATTA				
	LTU（っ）（　で入力するとき）				

2．ホームポジション

キー入力の際、効率よく入力するためにキーボードを指に置く基本となる位置があり、図のように右手・左手の各指が押すキーが決まっています。
この基本となる位置をホームポジションといいます。

ホームポジションは、右手の人差し指を J キーに、左手の人差し指を F キーに置きます。

ホームポジションを基本に、正確に入力できるよう練習しましょう。



3. 学習記録表

月　日	学　　習　　内　　容	学習時間

ISSN-1340-2420
教材情報資料No.

パソコンによる読み書き計算
－キー入力からのアプローチ－

発　行　1995年3月
発行者　雇用促進事業団
職業能力開発大学校　研修研究センター
所長　城　哲　也
〒229　神奈川県相模原市橋本台4-1-1
電話　0427-63-9005（代表）

印　刷　株式会社　相模プリント
〒229　相模原市東橋本1－14－17
電話　0427-72-1275㈹